



なめじり宵の語



成人向
adult only





ほ……まさか……
犯すつもり
ですか…!?

法を!!

別に罪は犯さ
ねえよツ!!



でも小学生を
家に連れ
込むなんて

十分危険は
冒していますよね
阿良々木さん

いや
全然上手く
ないから



そうだな…
こうしていると
間違えまで
犯しそうだ…

しかしあえてここは八九寺を
犯すことで『法律』と『過ち』と
『少女』を犯すというトリプル
役満を試してみるのはどうだろう
別に八九寺を抱きたいわけ
ではなく、好奇心がそうしると
僕に嘔いてる気がする…

決して僕は八九寺の体に
興味があるわけではないのだ
そう…決して…



しかし
八九寺…

お前これを
見てもなんとも
無いのか…？

フーとか
キヤーとか

いえ
大丈夫です

昔はよくお父
さんのも舐めて
いましたから

はああツ!?

嘘です
間に受けないで
下さい!

見るのも触るのも…
阿良々木さんのが
初めてですよ…

はむ…♡

は…始めてに
してはなかなか
上手いじゃないか
八九寺…

当然です!
今は舐め九寺
真宵ですから

んッ♡

……
なんだろう……

ノリノリでやられると少しいじめてみたくなるこの気持ちは……

お……
こんな所に
持ちやすそうなの
取っ手が……



んんッ!?



んぶッ!



やばいッ……
八九寺の口の中
気持よすぎる……

ふえッ……

んうッ……

ごめんな
八九寺ッ……
出るッ!

えッ……

飲んでッ!!



んはうツ!?



ほら全部飲まないと
大事な服に
かかっちゃうぞー

んツ…ふツ…
…んぶツ



ふは…

あー言わん
こっちゃやない…

は…は…

きゅ…急に
何ですか!?
マララギさん!



人のことを
男性器名称の
隠語みたいに
呼ぶな!

僕の名前は
阿良々木だ!





咬みまみたッ!



.....



違う
わざとだ!



失礼
噛みました...



こうなったら
お前なんかッ...



痛って...!!
何すんだ
八九寺ッ!?

忍みたいに
噛み付き
やがって!



ぎゃー!!!



ナメ九寺真宵
どころか...
ハメ九寺真宵
にしてやるー!!

~~ナメ九寺真宵~~
ハメ九寺真宵

フフフ…
本当に子供パンツ
だったとはね

やあツ…!!
見ないで下さいツ!!

死ぬツ…
恥ずか死ぬツ…



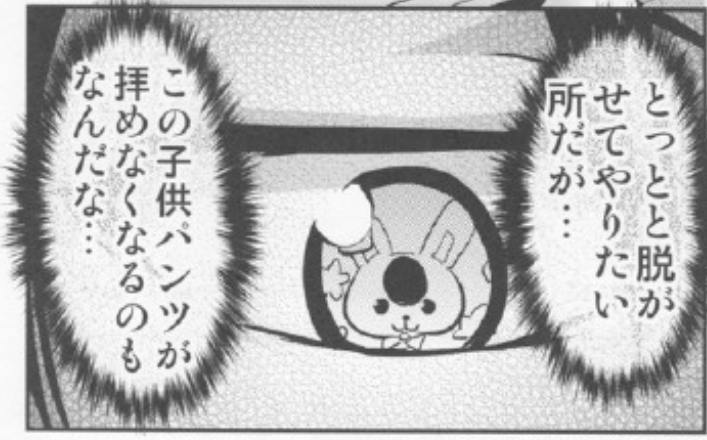
どうやら
ウサギちゃんも
濡れてきた
ようだな…

やあツ♡



とつと脱が
せてやりたい
所だが…

この子供パンツが
拝めなくなるのも
なんだな…



ッ!?!
何してるんですか
阿良々木さん!!

大丈夫大丈夫
今度弁償するから

そういう
問題じゃ…
ひやあツ♡





八九寺…お前の
下のナメクジ
可愛いツノなんか
出しちゃってるぞ

あ…♡
んッ…♡

ん…♡
ハハハ



ッ!?

変態という汚名を
被る勇氣!



な…何バカな事
言ってるんですか!!

変態ですか!?!
変態ですね!!!
阿良々木さん!



僕によく見え
るようにな

さあ…
腰を下ろして
自分で入れるんだ

ふはは!
またお前の技を
使わせてもら
ったぜ八九寺…!

…
しかたない
ですね…



ただ自分が変態である
というのを露呈
しているだけなのに
後に勇氣と付けるだけ
でまるで自分から
その道に身を委ねる
ことを決意したみたい
でかっこいいです…
そんなことは
一言も言っ
ていないのに!



よーし
ハメ九寺真宵
誕生のあいさつ
いってみようか



はあ…ん…♡

んんッ♡

♡ふ♡

♡や♡



ビシ

って何やらせ
るんですか!!



わ…私の名前は
ハメ九寺真宵です♡

たくさんハメハメ
して気持ちよく
なって下さいね♡



それじゃあ
動くぞ…

ふああッ♡



あッ…♡
あ…♡
変…な感じですよ…
阿良々木さんッ♡

八九寺の腔内…
流石にきつ…

おはよう

…っひやあッ♥

すべすべで
触ってるだけで
気持ちいいなー
八九寺の肌は

はあッ…♥

…そんなに
撫で回さない
で下さいッ♥



こっちの方も…

んっッ…♥

相変わらずの寸胴
ボディだけど…
可愛い胸してるな…
八九寺…

ふあ…♥



はあ♥

はッ♥



はあッ…♥
私は発育は良い
方ですからね…ッ

んっ♥



ひ…人の胸で
遊ばないで
下さい…

まっっっ♥
っっっ♥
っっっ♥

カタツムリ
だけに…
まだ芽(目)が
出てないけどな…





なんですか
それ…

これは…
えっと…
照れ隠し？

半…



あの…
阿良々木さんツ…
私が言うのも
なんですが…

ちよいちよい
つまらないギャグを
挟むのやめてもら
えませんか…？

もうそういう
秀囲気じゃない
じゃないですか…



んあッ♡

ガッガッ

ばっ…馬鹿！
何言っただ
こんな時に…ッ



彼女さんとのHの
ご様子も容易に
想像できそうですね…

ドドドドド



それでも一時的
気のまよいでも
いいですから…
今は私だけを
見て下さい…♡

それでも…

はあ…
…はあ



僕もだよ…

はっ…♡

胸があつたらとか…
怪異じゃなければ
とか思つたこと
なんて無い…

木更

木更

僕は今のお前が
好きなんだ…

はっ…♡

好きだよ…
八九寺…ツ

くぐぐ
きゅん

はあッ…♡

…私…私は—

…ふあああッ

あつ阿良々木さんツ
私…イツちや…ツ

きゅん
きゅん
きゅん

くぐぐ
きゅん



んあ

ツ
♥
♥
♥

おん

おん

おん

後日談ならぬ
事後談――

その後ちようど
妹が帰宅したので
八九寺はすぐに
帰ってしまった

相変わらず空気の
読めない妹だ

別れ際にさつき
何を言いかけた
のか尋ねると

すみません……
まだ言えないです……

言う……と……
恥ずかしさで
消えてしまっ
そうになるので

は――

軽い
自己嫌悪中

ん……起きた
のか忍……

おんが
おんが

ツ!?



感覚がリンクして
いるのじゃから
少しは加減と
いうものをじゃな...

お前様よ...
盛るのは結構
じゃが...



はーッ♥

はーッ♥



わ...悪かったな...
忍...

...じゃから
その...
なんじゃ...
僕にも...



後でパイプと
ミスト買って
来てやるから...



痛ってえ!!

氏ねッ!!

終